

毎週日曜発行 2019 7/21

# こども新聞 週刊がほピョンプリンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうの紙面

- 2 ギモンにこたえるモン
- 3 3分チャレンジ
- 4・5 いいね 小学校
- 6 英語
- 7 かほくワークシート
- 8 投稿特集



宮城県女川町で「スペインタイル」の絵付け体験ができるんだって。スペインに古くから伝わる明るくカラフルなタイルが、どうして女川で作られているのかな。かほピョンは工房を訪ねたよ。

## 夏休みオススメ 体験型観光

### ③ スペインタイル 女川

# 心に街に明るい彩りを

波や魚、花、太陽などが鮮やかに描かれたタイルがずらり。ここは漁業が盛んな港町・女川町にある「みなとまちセラミカ工房」です。



代表の阿部鳴美さん(58)は女川生まれ。陶芸が趣味でした。地元は2011年3月の東日本大震災で大きな被害を受け、阿部さんも家を失いました。沈んでいた時にスペインタイルと出会い、初めて見る明るい色使いに心を奪われました。

「色をなくした女川の街を美しいタイルで飾ろう」。阿部さんは技法を学び、12年に工房をスタート。材料は全部スペイン産で、海や船、灯台、獅子舞など懐かしい古里の風景を再現しました。タイルは評判となり、再開した店や施設のプレ



スペインタイル作りに挑戦する子どもたち

問い合わせ先

みなとまちセラミカ工房 0225(98)7866

ート、被災した人の新居の表札などに使われるようになりまし。今では街のあちこちで見られ、コースターやマグネットは人気のおみやげです。1000度の高温で焼くタイルは、何百年も色あせません。「思い出の風景や復興する女川の

姿を、未来の人にも伝えられる」。阿部さんはそんなふうに夢見ています。

予約すれば絵付け体験(2700円)が出来ます。素焼きの板に模様を



女川町を明るく彩るスペインタイル

描き、うわぐすりで色を付けると、2〜3週間で焼いてコースターに仕上げてくれます。

2枚作って1枚は自分用、1枚は街に寄付する「メモリアル体験」(3780円)もあります。自分で作ったタイルが未来まで女川の街を彩るなんてすてきですね。

工房のある商業施設「シーパルピア女川」はJR女川駅からすぐ。海産物の店や飲食店も並び、家族で楽しめるよ。

### 今週の注目ニュース

◇24日(水) 五輪開幕1年前の式典(東京)  
東京オリンピック開幕1年前を迎え、式典ではメダルのデザインがお披露目され、競技も体験できるよ。東日本大震災で被害にあった岩手、宮城、福島の子と東京都の子どもたちが招待されるんだ。

◇27日(土) 隅田川花火大会(東京)  
東京・下町の夏の風物詩だよ。2カ所から合わせて2万発の花火が打ち上げられるんだ。江戸時代に、飢饉で亡くなった人を慰霊する祭りとして始まったとされています。